

チャイ(紅茶)文化

2022年11月28日から12月3日までモロッコで開催されたユネスコ無形文化遺産保護条約第17回政府間委員会において、アゼルバイジャンとトルコのチャイ(紅茶)文化が、無形文化遺産に登録されました。

ユネスコは「アゼルバイジャンとトルコの紅茶文化は、人をもてなし、社会的絆を築き、それを維持する重要な社会的慣習となっている。また、共同体において重要な瞬間を祝うためのものともなっている」として、無形文化遺産として登録に至った背景を説明しています。

伝統工芸品であるやかんには、様々な形があり、また、カップについては、洋なし型のものが主流ではありますが、ガラスや磁器、または銀製など、素材は様々です。一般に、砂糖やスライスレモン、ジャムやドライフルーツなどがお茶請けとして添えられます。アゼルバイジャンでは、シナモン、ジンジャー、タイムなど、地元のスパイスやハーブにより香り付けを行う地域もあります。



出典： <https://ich.unesco.org/en/RL/culture-of-ay-tea-a-symbol-of-identity-hospitality-and-social-interaction-01685>

(以上)